

株式会社電算 2014年3月期第2四半期 決算説明会資料

2013年11月22日

(東証一部 証券コード3640)

www.ndensan.co.jp

I. 貸借銘柄に選定	1ページ
II. 2014年3月期第2四半期 決算	2ページ
III. 2014年3月期通期 業績予想	6ページ
IV. 現在の取り組みと今後の状況	8ページ
V. 株主還元	17ページ

I 貸借銘柄に選定

II 2014年3月期第2四半期 決算

III 2014年3月期 業績予想

IV 現在の取り組みと今後の状況

V 株主還元

2013年7月16日

東京証券取引所市場第一部の
制度信用銘柄に選定される



2013年11月14日

新たに東京証券取引所市場第一部の
貸借銘柄に選定されました

I 貸借銘柄に選定

II 2014年3月期第2四半期 決算

III 2014年3月期通期 業績予想

IV 現在の取り組みと今後の状況

V 株主還元

売上高 54億 3百万円 (前年同期比 13.2%減)
営業損失 4億34百万円 (前年同期 4億51百万円の営業利益)

● 公共分野

総合行政情報システム・戸籍システムのリプレイス導入を実施。
例年と比較して法制度改正対応が予測を大きく下回ったこと、
価格競争による利益率の低下等により減収減益。

● 産業分野

病院総合情報システムの導入、リースータルシステムの新規導入は順調に推移したが、原価超過案件の発生により増収減益。

● 法制度改正対応の大幅な減少、大規模な新規システム開発の失注、

価格競争による利益率の低下、原価超過案件の発生

● 次期総合行政情報システムの研究開発への投資や人材育成への投資の増加

2014年3月期第2四半期 損益計算書

	2013年3月期 第2四半期		2014年3月期 第2四半期		増減	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	率
売上高	6,227	—	5,403	—	▲823	▲13.2%
営業利益	451	7.3%	△434	△8.0%	▲885	—
経常利益	454	7.3%	△430	△8.0%	▲885	—
四半期純利益	300	4.8%	△305	△5.7%	▲605	—

2014年3月期第2四半期 セグメント別損益(営業利益)



		2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減額	増減率
公共分野	売上高 (百万円)	4,559	3,681	▲878	▲19.3%
	営業利益 (百万円)	520	△239	▲623	—
	営業利益率 (%)	11.4%	△6.5%	—	
産業分野	売上高 (百万円)	1,667	1,722	+54	+3.3%
	営業利益 (百万円)	△68	△180	▲112	—
	営業利益率 (%)	△4.1%	△10.5%	—	

2014年3月期第2四半期 業務の種類別損益(売上総利益)



		2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減	
				金額	率
情報処理・ 通信サービス	売上高(百万円)	1,498	1,511	+13	+0.9%
	売上総利益(百万円)	422	380	▲42	▲10.0%
	売上総利益率(%)	28.2%	25.1%	▲3.1pt	
ソフトウェア開発・ システム提供 サービス	売上高(百万円)	3,162	2,175	▲986	▲31.2%
	売上総利益(百万円)	1,168	626	▲541	▲46.3%
	売上総利益率(%)	36.9%	28.8%	▲8.1pt	
システム機器 販売等	売上高(百万円)	862	890	+27	+3.2%
	売上総利益(百万円)	180	177	▲3	▲1.8%
	売上総利益率(%)	20.9%	19.9%	▲1.0pt	
その他関連 サービス	売上高(百万円)	704	826	+122	+17.3%
	売上総利益(百万円)	239	233	▲5	▲2.4%
	売上総利益率(%)	33.9%	28.2%	▲5.7pt	

I 貸借銘柄に選定

II 2014年3月期第2四半期 決算

III 2014年3月期通期 業績予想

IV 現在の取り組みと今後の状況

V 株主還元

売上高 124億32百万円（前期比 10.1%減）
営業損失 4億13百万円（前期は6億42百万円の営業利益）
当期純損失 3億 6百万円（前期は4億44百万円の当期純利益）

【下期の活動】

- 主力商品 総合行政情報システム、地銀系リースタートシステムの拡販
- バックアップサービス、共有ラックサービス、仮想サーバサービスなどデータセンターサービスの拡販
- 次期総合行政情報システム開発の推進
- 来期に向けた番号制度（マイナンバー制度）などの法制度改正の対応

【通期業績見込み】

- 上期の売上、利益の減少が影響し、通期でも損失となる見込み

	2013年3月期		2014年3月期(予想)		増減	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	率
売上高	13,824	—	12,432	—	▲1,391	▲10.1%
売上総利益	4,091	29.6%	3,521	28.3%	▲570	▲13.9%
販管費及び 一般管理費	3,448	25.0%	3,934	31.6%	+485	+14.1%
営業利益	642	4.6%	△413	△3.3%	▲1,056	—
経常利益	666	4.8%	△426	△3.4%	▲1,093	—
当期純利益	444	3.2%	△306	△2.5%	▲750	—

I 貸借銘柄に選定

II 2014年3月期第2四半期 決算

III 2014年3月期通期 業績予想

IV 現在の取り組みと今後の状況

V 株主還元

当社のリスク

- ▶ **受託開発型**
 - ▶ **公共分野の売上が7割を占める**
- ⇒ **労働集約型企业**

対応策

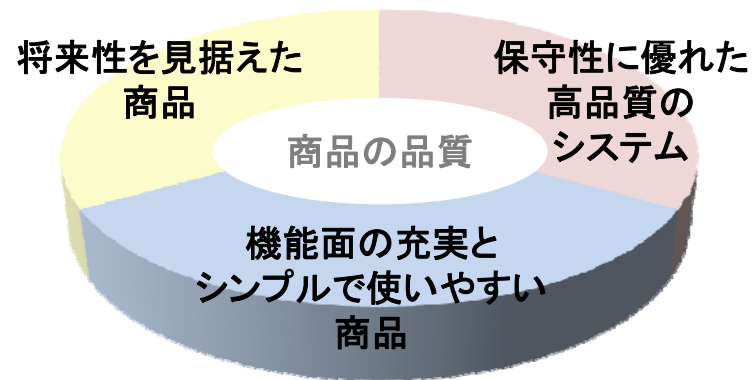
- **商品・サービスの多様化**(商品・サービスの開拓)
 - **研究開発**(新商品・新サービスの開発)
 - **人材育成**(技術力、提案力、コミュニケーション力)
- ⇒ **知識集約型企业**

- 1 次期総合行政情報システム開発開始
・・・2012年5月
次期総合行政情報システム提供開始
・・・2016年1月
- 2 海外展開の開始
・・・2013年7月
- 3 番号制度(マイナンバー利用開始)
・・・2016年1月
- 4 番号制度(マイナンバー情報連携開始)
・・・2017年7月
- 5 北陸新幹線金沢延伸
・・・2015年春

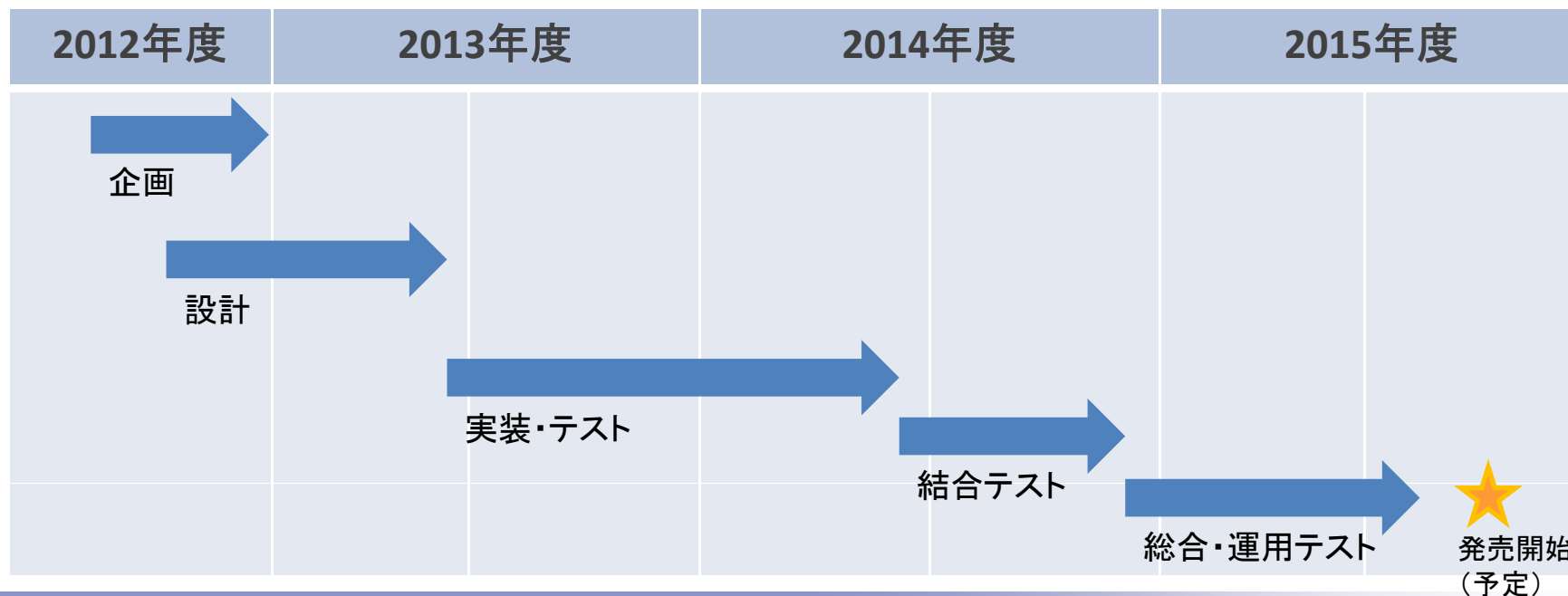
開発投資内容

- 発売開始時期・・・2016年1月
- 開発のための支出
・・・約35億円

商品開発コンセプト



商品開発スケジュール



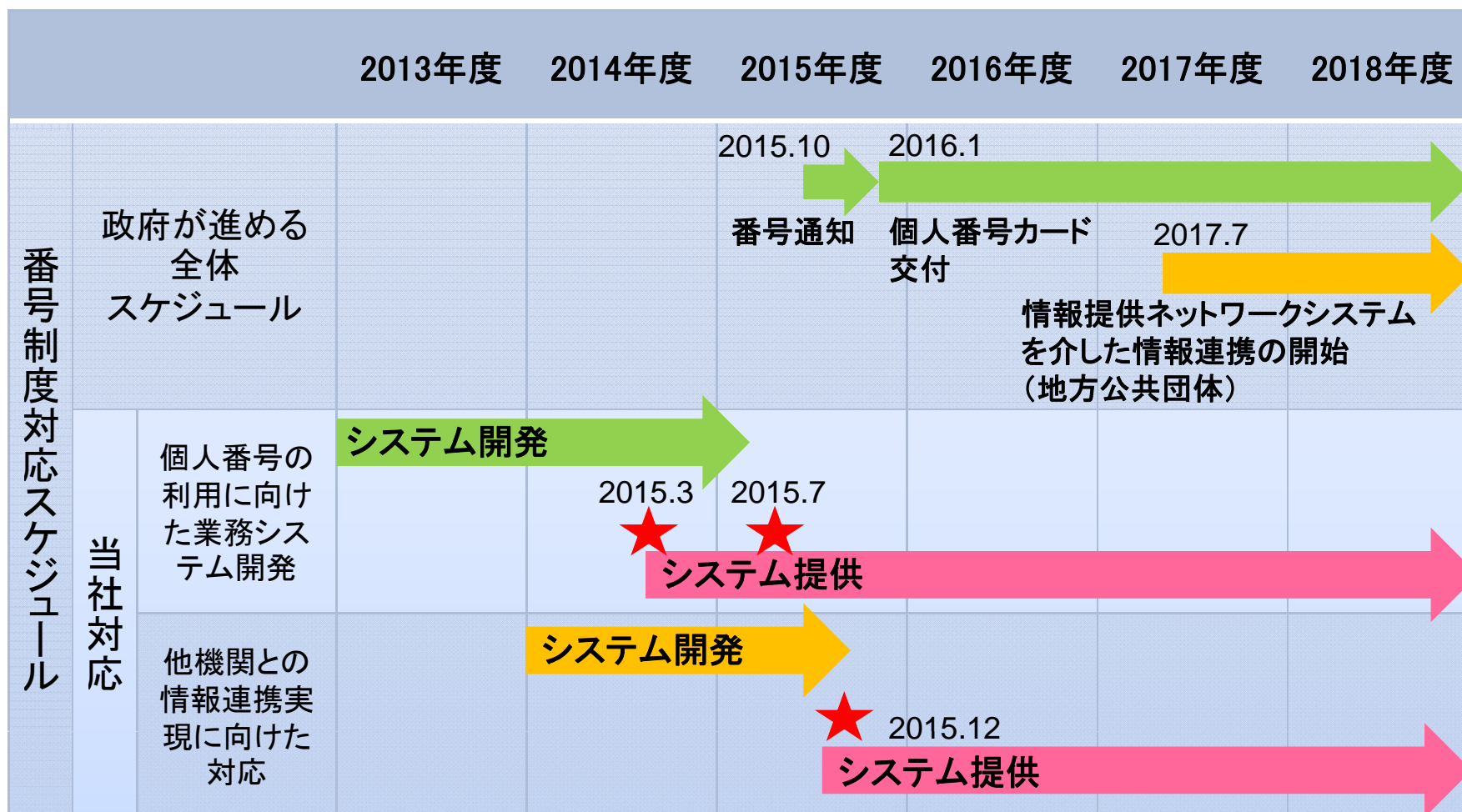
台湾製 電子ブック作成・公開システム (Air Libro: エアーリブロ)の販売開始

- たんちやお 堂朝数位整合株式会社(台湾)が開発した
電子ブック作成・公開システムを国内で販売開始

ワークフローシステム(Dugong)を中国で販売開始

- 当社が開発したワークフローシステムを
中国語対応し、中国の企業向けに販売を開始

2016年1月の個人番号利用開始に向け システム対応を計画的に推進



- 番号の活用は段階的に進行
- それぞれの段階に適した業務システムの開発を計画的に実施
- 番号を利用するための基盤づくりから支援開始



2012年度	2013年度	2014年度
<ul style="list-style-type: none"> ・住民基本台帳制度改正対応 ・子ども手当所得制限適用対応 ・障害者総合支援法改正対応 ・国民年金関係届書の電子媒体化対応 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険特定世帯の軽減延長制度対応 ・障害者総合支援法対応 ・地方公営企業会計基準の見直し対応 <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin-top: 10px; background-color: #f9f9f9;"> <p style="color: red; text-align: center;">2013年度は例年に比べ制度改正対応が少なく、規模が小さい</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・番号制度対応 ・子ども子育て新制度対応 ・年金生活者支援給付金対応 ・介護保険制度改正対応 ・固定資産税評価替対応 ・個人住民税eLTAX 地方税電子化協議会システム更改対応
		<p>など</p>

今後想定される法律・制度改正等(番号制度は除く)

		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
社会保障制度	障害者総合支援法	システム開発	施行			
	子ども・子育て新制度対応	システム開発	施行			
	介護保険制度改正		システム開発	施行		
	年金生活者支援給付金対応		システム開発	施行		
	国民健康保険の運営を市町村から都道府県へ移管				システム開発	施行
評価替	固定資産税評価替	システム開発	施行		システム開発	施行
行政改革	地方公営企業会計基準の見直し	システム開発	施行			

北陸新幹線金沢延伸による北陸地方への営業展開

- 長野から金沢まで新幹線で約65分
- 北陸地方が新たな市場に
- 北陸地方の市町村や民間企業に対し、
積極的に営業展開

I 貸借銘柄への選定

II 2014年3月期第2四半期 決算

III 2014年3月期通期 業績予想

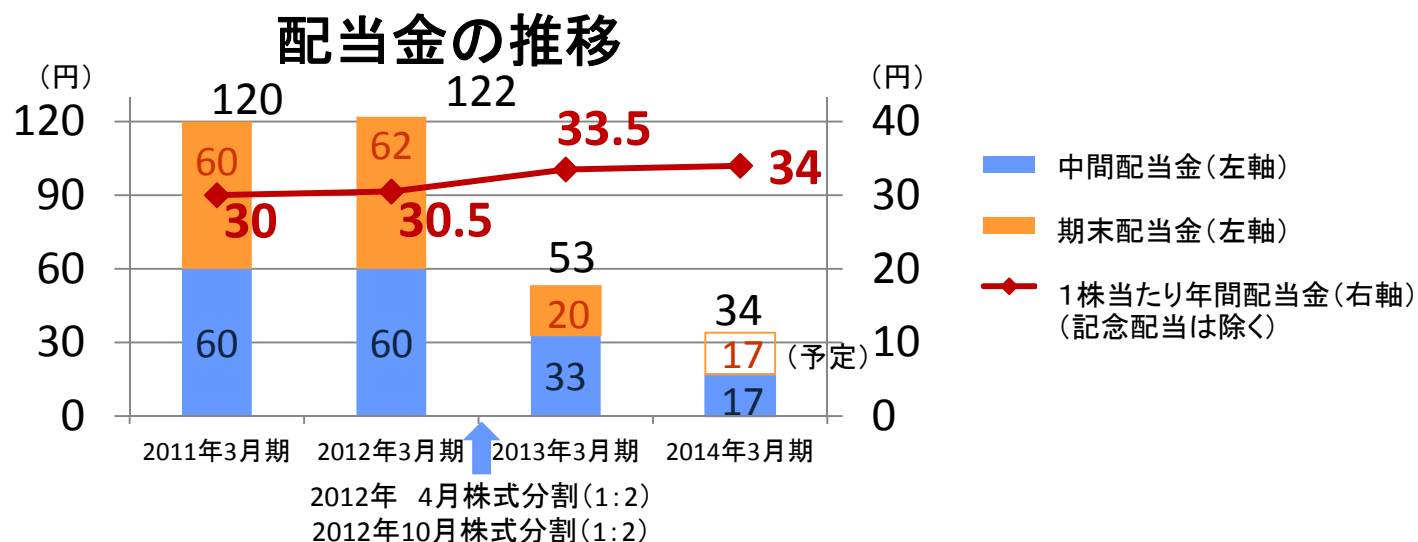
IV 現在の取り組み

V 株主還元

【配当方針】 中間期末、期末の年2回実施

【配当性向目標】 20%以上

1株当たり配当金	2013年3月期実績	2014年3月期
年間配当金	53円	34円(予定)
9月中間期末	33円	17円(決定)
3月期末	20円 記念配当3円含む	17円(予定)



4,000円の商品券を贈呈

◆対象株主様

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記録された
100株以上を保有されている株主様

◆贈呈時期

毎年6月下旬 当社定時株主総会終了後、送付する決議ご通知に同封



本日はご清聴いただき
誠にありがとうございました。

IRに関するお問い合わせ

IRに関するお問い合わせ・ご質問は下記までお寄せ下さい。

株式会社 電算 経営企画部 IR担当 宛て

TEL: 026-224-6666 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除く8:30~17:30の間)

ir@ndensan.co.jp

本資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、作成時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後経済情勢や市場動向の変化等、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

本資料は、当社に関する情報提供を目的としたもので、投資勧誘を目的にしたものではありません。

掲載されている情報を投資、その他の目的に利用することが適切か否かに関する決定は、利用者ご自身の判断で行うよう、お願いいたします。